

令和3年 第3回 男鹿市教育委員会会議録

1. 日 時 令和3年5月28日（金）午前10時00分～

2. 場 所 男鹿市役所 3階 第1会議室

3. 出席者 教育長 鈴木 雅彦
 委 員 小玉 亜紀子
 委 員 吉田 貴美子
 委 員 三浦 良忠
 委 員 目黒 重光

4. 出席職員 教育総務課長 太田 穰
 学校教育課長 加賀谷 正人
 教育総務課主幹 鎌田 真樹子
 教育総務課主幹 佐藤 延明
 学校教育課主幹 清水 琢

5. 案 件

議案第10号

令和3年度教育費6月補正予算について

6. 報 告

- (1) 社会教育委員等の委嘱について
- (2) 男鹿北中学校統合準備委員会について
- (3) 男鹿市廃校舎活用プロジェクト委員会（仮称）について
- (4) 令和2年度事業教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

7. その他

8. 閉 会

【議事 午前10時00分開会】

○教育長

ただいまから、令和3年第3回教育委員会会議を開催いたします。

本日の会議は、議事日程にお示ししておりますように、議案が1件と、報告事項が4件、その他となっております。ご審議につきまして、よろしくお願いいたします。

なお、前回の議事録の承認につきましては、修正箇所をご確認いただいた後、署

名いただきたいと存じますので、ご了解くださいますよう、お願いいたします。

それでは、案件に入ります。議案第10号「令和3年度教育費6月補正予算について」を議題といたします。それでは事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

教育費6月補正予算について、事務局から説明がありました。小、中学校共に、備品購入費、学校図書購入費に関する数字が変更になっております。議案第10号につきまして、ご質問いかがでしょうか。

○目黒委員

補助事業の大型提示装置は、今後テレビ会議などに使用するものですか。

○学校教育課長

この大型提示装置は船川第一小学校に配置するもので、デジタル黒板と同様の使い方をする予定で、今後外部とのオンライン授業に使うこともできる見込みです。大きさは55インチくらいの予定であります。

○教育長

まだ、事業はスタートしていませんが、授業で活用されていくと今までと全く違う授業が展開されていくと考えられます。それが普通のスタイルになっていくのではないかと考えています。

他に、ご質問等ございませんでしょうか。

○目黒委員

中学校大会派遣補助金は、補助するところが決まっているのでしょうか。決まっているのでしたら教えていただきたい。

○学校教育課長

65万円の補助金は、これから夏の総体があり、その結果で補助していくものです。去年は、コロナで全県大会等が中止になっています。

○教育長

男鹿市の生徒の活躍を期待しています。

それでは、ご質問がなければ、議案第10号「令和3年度教育費6月補正予算について」は、ご異議なしということで、よろしいでしょうか。

○委員一同

はい。

○教育長

ありがとうございます。議案第10号は承認されましたので、令和3年6月男鹿市議会定例会に提案することといたします。

次に、報告に移ります。では、「(1) 社会教育委員等の委嘱について」であります。始めに、教育総務課関係について、説明をお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

次に、学校教育課関係について、説明をお願いします。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問はありませんか。

○小玉委員

委員に、いろいろな役職の方がいますが、役職を交代した場合、委員はどうなりますか。

○学校教育課長

いじめ問題対策協議会は、例えば1年で変わった場合、残りの1年は役職を変わった方に委員をお願いすることになります。

○生涯学習班主幹

社会教育委員は、PTA役員などが毎年変わり、その場合、前の方の残任期間を次の方をお願いすることとしています。

○教育長

次に「(2) 男鹿北中学校統合準備委員会について」、事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問はありませんか。

○目黒委員

準備委員会で統合の同意を得ていくのでしょうか。

○教育総務課長

3月に北浦地区で説明会を行い、アンケートを実施したところ7～8割の方が、統合に同意するという結果でありましたので、統合に向けた準備をしていきます。委員には、統合に同意していただいたうえで委員を引き受けていただくということです。

○目黒委員

今までに、統合条件などの話し合いなどはあったのですか。

○教育総務課長

昨年1年間かけて説明してきて、統合への同意は得られたと考えていますので、今後スムーズな統合に向けて、何が必要かを準備委員会で考えていきます。

○小玉委員

統合地区の方が引っ越したりということもあると思われますので、十分考えていただきたい。また、生徒の交流などは、これから考えていくのでしょうか。

○学校教育課長

生徒の交流については、男鹿北中・男鹿南中で話し合われており、この会で話し合っていくというより、どのような交流をするか報告していく形になると思います。

あわせて、船川第一小学校と北陽小学校の児童の交流についても、今後、両校で話し合う予定で、学校間交流については、すでに始めているところであります。

○教育総務課長

教育の観点から、大きな学校で学ばせて、一人一人がいろいろな人と関わり、学ぶことが必要であると考えておりますが、地域からは学校がなくなることは大きな痛手と考えられるので、今年度から市の職員の地域担当制度も始まるので、学校がなくなっても地域が立ちいかなくなることはないよう、市で一体となって考えていきたい。

○教育長

5月22日、男鹿北中の運動会に行ってきましたが、北中最後の運動会ということで、全校生徒22名がフル出場で盛り上がっていました。この後、男鹿南中との交流学習も進めていきますので、統合準備委員会も迅速に、そして丁寧に進めてまいります。

○教育長

次に「(3) 男鹿市廃校舎活用プロジェクト委員会（仮称）について」、事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長

資料に沿って説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問はありませんか。

○小玉委員

よく委員会を立ち上げていただいたと思います。建物だけでなく、小坂のワインセラーでは、廃校になった校舎を活用しているが、中にあった備品も活用していました。そういうことも考えていただきたい。

○吉田委員

廃校舎の活用は、民間に校舎を貸して活用してもらうことか、それとも、売却して活用してもらうことを考えているのでしょうか。

○教育総務課長

賃貸借契約と売却と両方考えています。更に市民センターなどの公共的活用も考えて検討していきます。一番は民間譲渡で、次は賃貸借契約というように考えています。

○三浦委員

民間譲渡で廃校舎を有効に活用していただければありがたいが、どういう風に周知していくかが、これからの課題になってくると思います。例えばネットで知らせるなど、県外の方にも知っていただいて、移住定住につながればよいので、ぜひがんばっていただきたい。

○教育総務課長

一番のターゲットは県外の資本ですが、県内でもいろいろな活用の成功事例、地元企業で成功しているところもありますので、みんなの目に触れるように、データベース化してホームページにあげる、チラシを配布するなど、広報活動を考えていきます。

○教育長

廃校舎の活用については、教育委員会だけで有効な活用方法を見出すことが難しい極めて重い課題です。全庁レベルで議論し、有効な活用方法のアイデアを出してもらい、外に向けて情報発信していきたいと思います。

○教育長

次に「(4) 令和2年度事業・教育委員会の事務に関する点検評価報告書について」、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長

資料に沿って説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問はありませんか。

○吉田委員

1項目のコミュニティスクールの目標値が分かりづらいが、アンケートの人数や、コミュニティスクールをもっと理解していただけるような、表記はないものかと思っています。

生涯学習推進の協働活動の文章で、「学校における働き方改革」の部分が分かりづらいので、教えていただきたい。

○学校教育課長

目標値は、できるだけ数値で表せるものということで苦慮しているところであります。ある程度客観的な数値ということでアンケートの評価の平均値を記入しているが、アンケートは70～80人程度にお願いしているが、分かりにくいところもあったかなと思います。地域人材の活用的人数なども参考にできると思うので、もう少し書き方を検討していきます。

○教育長

学識経験者の評価の時には、参考資料も添付したらわかりやすいのではないかと思います。次に子ども家庭連携推進事業については、どうですか。

○教育総務課生涯学習班主幹

協働活動は、地域と連携して行うものであるが、従来、先生が行ってきた参観日の放課後の子供の見守りを、地域の方に協力をいただき、見守りを行ってもらうことであります。それで先生の負担が軽減され、働き方改革につながっているという意味で記載したものです。

○目黒委員

規則改正の一部改正の表記と、人事異動の案件が抜けているのではないかと思います。確認をお願いしたい。

○教育長

ありがとうございます。昨年のもの等確認し、修正していきます。

○教育総務課長

不備なところは、精査したものに修正いたします。

○学校教育課長

コロナウイルス感染症の影響で実施できなくなった事業もありましたので、ご理解をお願いします。

○教育長

では、次年度の点検評価に向けて、改善すべき点を改善してまいります。

○教育長

次に、「その他」について、資料「市内小中学生への『男鹿産真鯛のしょつつる唐揚げ』給食の提供について」、「調理場業務民間委託について」、事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長

資料により説明

○教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問はありませんか。

これで議事は終了しましたが、委員の皆様から何かありませんか。

○吉田委員

コロナワクチンの接種について、医療従事者として先に接種したので、これからの参考になればと話をさせていただきます。

60歳代以上はあまり副反応がないようですが、20歳代から50歳代は2回目の接種で発熱があるようです。それと、利き手と反対の手に打つようにしていますが、翌日腕の痛みで手が上がらない、動かしづらいということがあるようです。

学校などで職員が打つ場合は発熱等に備え、日をずらすなどの工夫が必要と思います。学校の内科の校医に対応など相談してみても良いと思いますので、よろしくお願いいたします。

○教育長

貴重な情報ありがとうございます。いろいろな状況を想定しながら、対応していきたいと思います。

○小玉委員

今、みなと病院が休んでいますが、そういったコロナに関連した情報など学校の方からありますか。

○学校教育課長

心配して学校を休ませたいという保護者もいましたが、今のところ感染者はいない状況が続いておりますが、学校では、今できる感染対策をしっかりと行って、家庭での感染が心配ありますが、各家庭で体調管理をしていただき登校していただく、感染予防をお願いしていきます。

○教育長

コロナ感染症でいじめや誹謗中傷がないよう、学校にも文書で通知を出しておりますが、この後、市校長会時にも周知し、保護者等から訴えがあれば真摯に対応していきたいと思います。

ほかにありませんか。

○教育長

ないようですので、これをもちまして、令和3年第3回教育委員会会議を閉会いたします。

【午前11時20分閉会】